

その他

## COVID-19に関する教職員研修とアンケート報告 Teacher & Staff Training and Questionnaire Report on COVID-19

横谷チエミ<sup>1)</sup>\*, 黒木利恵<sup>1)</sup>

1) 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター

Chiemi Yokoya<sup>1)</sup>, Rie Kuroki<sup>1)</sup>

1) Center for Professional Education, Kanagawa University of Human Service

### 抄 録

新型コロナウイルス感染症（以下 COVID-19 と称す）のパンデミックはあらゆる社会生活に大きな影響と変化を引き起こした。2020年1月から9月までの間の研究や事象の観察による知見の積み重ねにより、人々の行動変容が促されている。神奈川県立保健福祉大学実践教育センター（以下センターと称す）では国や学会等から出される COVID-19 感染対策のガイドラインや情報などをもとに現任教育機関における COVID-19 の感染予防策を構築し、教職員が COVID-19 に関する感染予防策を講じるための知見と感染予防策の実際を習得することを目的に感染管理認定看護師教育課程の教員が講師となり本学3キャンパスの教職員を対象に研修を開催した。

教育機関においても感染対策に時間やコストが増え、学生・受講者の行動制限、授業・学習方法の行動変容が求められる。この研修報告の目的は、新興・再興感染症の発生時や日常の感染対策の動向を適宜研修等の機会をもち、教職員が感染予防・感染拡大防止行動を習得する機会を推進することである。

キーワード：新型コロナウイルス感染症、感染管理、教職員研修

Key Words：COVID-19, Infection Control, Teacher & Staff Training

### はじめに

COVID-19 が蔓延する中で、2020年度のセンターの前期の教育課程や研修が中止となった。9月から後期の教育課程と研修の開講を控える中、現任教育機関での COVID-19 の感染対策がどうあるべきかを検討し国や学会等のガイドラインをもとに、COVID-19 の感染予防策を構築し、教職員が COVID-19 に関する感染予防策を講じるための知

見を深め、COVID-19 予防策の実際を学び、感染予防・拡大防止することを目的に本学教職員を対象にした研修をオンラインで開催した。この研修報告が、教職員が COVID-19 の動向や情報をもとに共通した感染対策の認識に基づいて感染予防・感染拡大防止行動をとったうえで教育活動を行い、学生・受講者に対して安心して学習できる環境を提供するための一助となることを希望する。

### 報告

#### 1 当該研修会の開催概要

日時：2020年9月3日(木) 16:15～16:50

テーマ：新型コロナウイルス感染症の基礎知識と実

著者連絡先：\*横谷 チエミ

神奈川県立保健福祉大学実践教育センター感染管理  
認定看護師教育課程

E-mail：yokoya-chi.j@kuhs.ac.jp

(受付 2020.9.9 / 受理 2020.12.9)

実践教育センターにおける新型コロナウイルス感染症の感染予防策について

方法：オンライン Zoom ミーティング

対象：3 キャンパスの教職員

参加数：60 名

講師：実践教育センター感染管理認定看護師教育課程教員 黒木利恵 横谷チエミ

研修項目

(1) 新型コロナウイルスと感染対策の基礎知識

- ①新型コロナウイルスについて
- ② COVID-19 の現在の発生状況について
- ③ COVID-19 の臨床症状
- ④ COVID-19 の臨床症状の経過
- ⑤ COVID-19 の検査診断
- ⑥ COVID-19 の治療とワクチンについて
- ⑦ COVID-19 の伝播経路について
- ⑧ COVID-19 の感染対策の考え方について

(2) 実践教育センターにおける新型コロナウイルス感染症の感染予防策

- ① COVID-19 の感染対策の基本
- ② 職員・学生 / 受講生の健康管理
- ③ マスクの着用
- ④ 手指衛生
- ⑤ 十分な換気
- ⑥ 人と人の距離の確保
- ⑦ 環境の消毒・除菌

2 開催するに至った経緯

センターが開催する教育課程及び研修の学生・受講者の背景は医療機関や社会福祉従事者である。9 月から後期の教育課程と研修の開講を控える中、学生・受講生からは COVID-19 の受け入れの病院に勤務しているが受講できるのか、教員からは学内にウイルスを持ち込み、感染を広げてしまうことはないか、感染症発生時や濃厚接触者への対応など開講に向けた相談や課題が挙げられた。また、教職員の COVID-19 に関する知識や理解は各自の情報収集にとどまっており、教育活動の中での感染対策の実践の根拠や実際の対応では、教職員間での理解の違いや対応の差が生じる可能性があった。センターではプロジェクトチームを立ち上げ厚生労働省や学会から出されるガイドラインや情報に基づき、セン

ターにおける COVID-19 の感染予防策のマニュアルを作成した。さらに、教職員が COVID-19 の動向や情報、マニュアルをもとに共通した感染対策の認識に基づいて感染予防・感染拡大防止行動をとることができるよう感染管理認定看護師教育課程の教員 2 名で教職員向けのオンライン研修を開催した。

3 研修の目的

教職員が COVID-19 に関する感染予防策を講じるための知見を得る。

COVID-19 予防策の実際を学び、感染予防・感染拡大防止行動ができるようになる。

4 アンケートの実施方法

センターにおける COVID-19 のマニュアルを研修内容として構成しており、教職員の研修後の理解度とマニュアルが活用できる内容であったかを確認するため、研修終了後にセンター職員 33 名を対象にメールで WEB アンケートの回答を依頼した。回答期間は開催日より 1 週間とした。アンケートの内容は「新型コロナウイルスと感染対策の基礎知識」と「実践教育センターにおける感染予防策」について理解できたか、今後、活用できるかを問う内容とした。また、今回初めてのオンラインでの研修形態であり、このような研修は随時開催する必要性があると考え、研修時間の質問、及び研修に関する意見・感想について記載欄を設け自由回答とした。

職員はメールに添付した URL からアンケートフォームに入力する方式で回答し、回答する際に個人の特定はできないように配慮した。

5 アンケートの調査結果 (図 1)

33 名中 19 名の回答が得られた。回答率は 57% であった。回答者の属性はセンターの事務職 7 名、教職員 12 名であった。

「新型コロナウイルスと感染対策の基礎知識」と「実践教育センターにおける新型コロナウイルスの感染予防策」の内容が理解できたかの問いについて、回答した全員が「理解できた」と回答した。

「新型コロナウイルスと感染対策の基礎知識」と「実践教育センターにおける新型コロナウイルス感染症の感染予防策」の内容が今後活用できるかの問

いについて、回答した全員が「活用できる」と回答した。

研修の開催時間については「ちょうどよい」が94.7%、「長い」が6.3%であった。

研修後の意見・感想についての記載内容については以下のとおりであった。

- ・わかりやすかったです。
- ・施設内における感染対策についてとても勉強になりました。
- ・全職員でセンター内の対策を共有することができて有意義であった。資料も業務で常に参考に来、大変わかりやすかった。
- ・タイムリーで理解しやすい内容だった。
- ・とても聞きやすく、わかりやすい内容でした。今後、たくさんの学生さんや研修の方々が来校されるので、気持ちよく学んでいただけるように、感染対策を心掛けていきたい。
- ・とてもわかりやすく、資料も見やすかったです。これからの研修等に役立てられると思いました。
- ・研修の準備等、いつもありがとうございます。心強いです。
- ・わかりやすい説明で、不安が払拭できた。
- ・具体的な内容で、理解出来ました。
- ・図表を用いて説明いただき、とても分かりやすかったです。
- ・予防策について改めて意識づけられるよい機会と

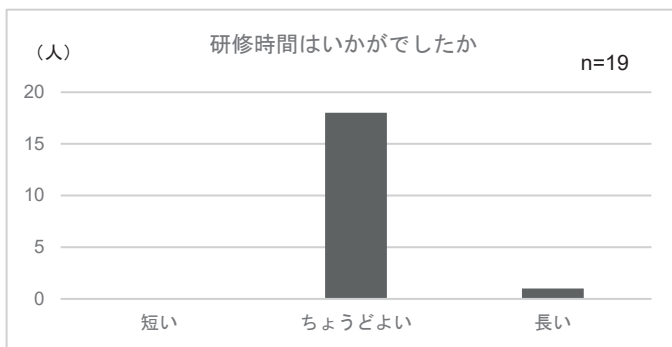
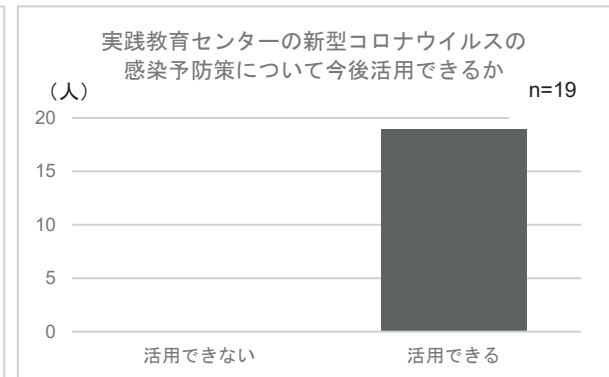
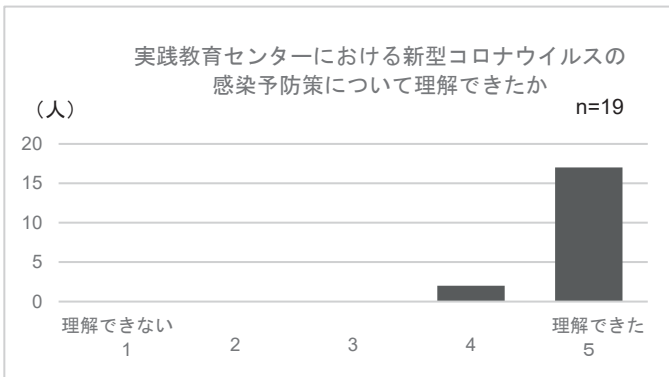
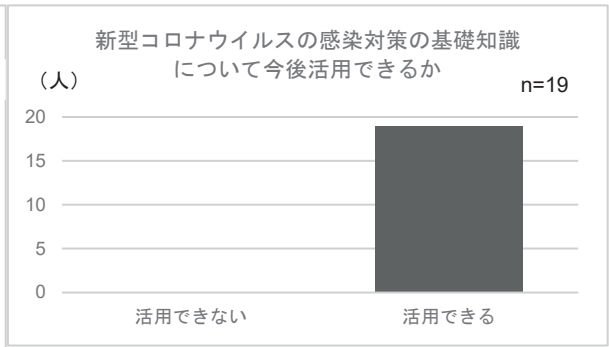
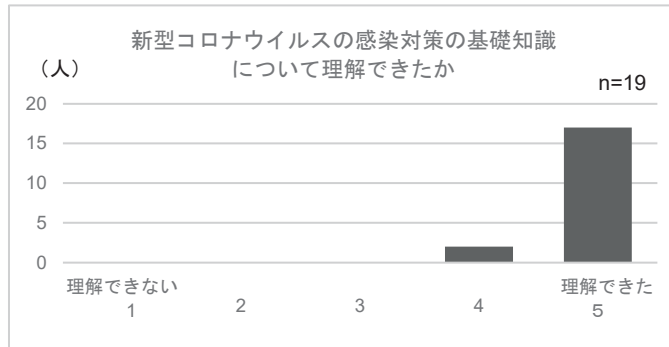


図1 アンケート結果

なりました。

- ・基礎的な知識から実際の対応まで、今後の研修時の参考になりました。
- ・質疑応答の方法を講義の最初に教示してもらえるとずっと良かったです。

## 6 考察

COVID-19 が世界的に蔓延し、日本国では専門家会議からの提言を踏まえた、「新しい生活様式」の実践例が示された。各省庁や学会では感染拡大予防ガイドラインや手引きなどが作成され、実践教育センターの課程・研修の開講にあたって教職員はそのガイドライン等を読みこなしながらマニュアルを作成するにいたった。しかしながら、教職員がCOVID-19の基本的な知識や感染防止の技術について、全員が同じように理解して行動しているとは限らない。また、現在も感染対策として必要かそうでないか明確ではないことなど多くあり、社会生活の中で意見の食い違いや価値観の違いによる議論も起きている。そこで、感染管理を専門とする感染管理認定看護師教育課程教員により、「新型コロナウイルスと感染対策の基礎知識」と「実践教育センターにおける新型コロナウイルス感染症の感染予防策」について研修を開催した。

研修後に実施したアンケートでは、回答した全員が研修内容について「理解できた」と回答した。センター約6割の職員の意見からは概ね理解が得られた研修であったと考える。

「実践教育センターにおける新型コロナウイルス感染症の感染予防策」についても「今後活用できる」と回答している。また、研修後の意見・感想では、「資料は、業務で常に参考に出来、大変わかりやすかった」「これからの研修等に役立てられる」と意見があり、この研修が、今後の教職員の教育活動における、感染対策、感染拡大防止行動の一助なったと考え研修の目的は概ね達成できたと考える。しかしながら、今後の実践教育センターの課程・研修の開講にあたっては、作成した手順やルールが実践できない場面や対応に迷いが生じるなどといった問題やトラブルが必ず発生すると予測される。これに対し、その都度対応して対策を修正することと、手順やルールの変更の際には教職員への周知のために適

宜研修を開催して共通認識する必要がある。

また、オンラインでの研修時間は当初45分の予定であったが、予定より早く終了した。回答したほとんどの人が「ちょうど良い」と回答しているが、「質疑応答の方法を講義の最初に教示してもらえるとずっと良かった」との意見があった。オンライン研修の開催時間や方法について、貴重な時間を有効にできるようチャットの利用など質問しやすい環境を整え開催していきたい。

## おわりに

感染症対策についてはゼロリスクを求めると感染対策に時間やコストが増え、学生・受講者の行動制限などにより効果的な授業・学習に支障が出るため、学習効果と感染予防のバランスをうまくとれるよう、感染症の動向や情報と学生の学習状況を確認しながらの学校運営が望まれる。そのためにも、人が入れ替わる年度初め、感染症の動向の大きな変化があった時、感染対策の変容があった時には、教職員が共通した感染対策の認識に基づいた教育活動のために研修機会を設けることを推奨したい。

COVID-19の流行は続いており、まだ、未知の部分の多い感染症である。福祉・医療職には従来通りのサービスや職務の実施に加えたCOVID-19の感染対策の実践も期待されており、現任教育の重要性はより一層高まっている。その中で、今回のような教職員対象の研修を適宜実施してセンター内での適正な感染対策のバージョンアップを図りながら、学生・受講者が安心して学習できる環境の実現を目指す。

## 謝辞

この度の研修にご参加いただいた本学教職員の皆様、またアンケートにご回答いただいた皆様に深く感謝申し上げます。この研修の開催及び報告するにあたりご協力をいただいた、黄川田愛企画教務部長、佐藤裕季子実践教育部長、石原美和実践教育センター長をはじめとする教職員の皆様に感謝申し上げます。

## 参考文献

- 厚生労働省. (2020). 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 診療の手引き・第3版:[2020.9.4], <https://www.mhlw.go.jp/contet/000668291.pdf>
- 厚生労働省. (2020). 新型コロナウイルス感染症について国内の発生状況など:[2020.8.30], [https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kokunainohasseijoukyou.html#h2\\_1](https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kokunainohasseijoukyou.html#h2_1)
- 神奈川県. (2020). 新型コロナウイルスに感染した患者の発生状況:[2020.8.30], [https://www.pref.kanagawa.jp/documents/59216/kaigiroku\\_02.pdf](https://www.pref.kanagawa.jp/documents/59216/kaigiroku_02.pdf)
- 神奈川県. (2020). 新型コロナウイルス感染症 神奈川県対策本部会議録 令和2年3月16日:[2020.8.31], [https://www.pref.kanagawa.jp/documents/59216/coronakaigiroku\\_01.pdf](https://www.pref.kanagawa.jp/documents/59216/coronakaigiroku_01.pdf)
- 文部科学省. 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル ~「学校の新しい生活様式」~ (2020.9.3 Ver.4) [2020.9.3], [https://www.mext.go.jp/content/20200903-mxt\\_kouhou01-000004520\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20200903-mxt_kouhou01-000004520_1.pdf)
- 厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ. 新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について [2020.6.26], [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html)
- 厚生労働省ホームページ 新型コロナウイルス感染症の予防 [2020.9.1], [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00094.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00094.html)
- 森功次, 林志直, 野口やよい, 甲斐明美, 大江香子, 酒井沙知, ... 諸角聖. (2006). Norovirus の代替指標として Feline Calicivirus を用いた手洗いによるウイルス除去効果の検討. *感染症学雑誌*, 80, 496-500.

